

# 令和7年度第1回日野市指定管理者候補者選定委員会 議事録

## 1 概要

日 時	令和7年8月13日(水) 10時45分から17時30分まで
場 所	日野市役所本庁舎5階 507会議室
出 席	【委員】中村委員長(産業スポーツ部長)、岡田副委員長(企画部長)、小松委員(総務部長) 【応募事業者】株式会社タウンキッチン、B社、C社、D社、E社、F社
事 務 局	(産業振興課) 佐藤係長、洲鎌主任 (企画経営課) 西山課長、永尾副主幹、東瀬
議 事	(1) 選定委員会の概要について (2) 委員長・副委員長の選任 (3) 審査手順について (4) 日野市多摩平の森産業連携センター(愛称 PlanT) 指定管理者の選定について ① 施設概要説明 ② ~ ⑦ 各事業者よりプレゼンテーション・質疑 (5) 主管課質疑応答 (6) 委員意見交換 (7) 採点
記 録 作 成	(企画経営課) 東瀬
配 布 資 料	応募書類一式、採点表等審査資料一式

## 2 要点録

### (1) 選定委員会の概要について

#### ○ 事務局

選定委員会の概要について説明。

### (2) 委員長・副委員長の選任

#### ○ 事務局

委員長は日野市指定管理者候補者選定委員会設置要綱に基づき主管部長である産業スポーツ部長とした。

副委員長は互選により、企画部長とした。

### (3) 審査手順について

#### ○ 事務局

本日の進行について説明。

### (4) 日野市多摩平の森産業連携センター指定管理者の選定について

#### ① 施設概要説明

---

#### ○ 施設所管課(産業振興課)

施設の概要及び運営方針等について説明。

#### ■ 委員

市民サービスの公平性の部分について、創業支援施設のため「誰にとっても公平」というよりも「利用希望者の中での公平」という考え方でいいか。

#### ○ 施設所管課

そのとおり。あくまでも創業支援、育成がメインの施設のため、施設を使用する方にとって公平とご理解いただきたい。

#### ■ 委員

資料では毎年3名ずつ創業者が増えているとのことだが、PlanTの今後の変化の中で創業者が増えていくことが希望なのか、そのあたりの考えをお聞きしたい。

#### ○ 施設所管課

一人でも多くの人を創業者として輩出することを目指している。そのためにはPlanTの安定した運営が必要。創業して巣立っていくケースもちろんあるが、PlanTの住所で法人登記が可能のため、PlanTに本店を構えて市内で継続して事業を進めていただきたい、と考えている。

#### ■ 委員

主な業務の「利用の制限に関する業務」について、どのような方が制限される想定か教えていただきたい。

#### ○ 施設所管課

例えば、施設条例、規則に従わないような方や、別に定めている使用ルールに従わない方と想定している。

#### ■ 委員

開館時間について、現状に対して短くしてもらいたいのか、より長くしてもらいたいのかなど、施設所管課として考えはあるか。

#### ○ 施設所管課

コロナ禍を経て利用状況に変化が生じていることを踏まえ、令和5年9月議会にて開館時間を1時間前倒しする条例改正を行った。

現状としても、開館後間もない早い時間や土日の夜間など、利用者が少ないと感じる時間帯がある。令和8年度からの指定管理者により、利用実態、利用ニーズを把握していただいた上で、開館時間の変更の協議をしていくことは可能性としてはあると考えている。

## ② プレゼンテーション及び質疑応答（株式会社タウンキッチン）

<株式会社タウンキッチン入室>

### ◇ 株式会社タウンキッチン

提案内容についてプレゼンテーション、説明。

#### ■ 委員

この分野でこれほどの実績を持つ企業は他にあまり見当たらないが、創業支援事業に採算性はあるのか。

### ◇ 株式会社タウンキッチン

創業支援施設の採算性については実際の運営方法による部分が大きいと考えており、当社の場合は鉄道系企業とパートナーシップを結んでいる。これら企業は単なる賃料収入ではなく、沿線や地域全体の価値向上を重要課題と認識している。

そうした背景から、パートナーシップに基づき、創業支援施設の運営に際しては各鉄道会社のご理解と協力をいただき事業を展開している。取り組みの結果として、当社が運営している創業支援施設はすべて黒字を確保できている。

#### ■ 委員

このような事業開始のきっかけは。

### ◇ 株式会社タウンキッチン

経営コンサルや外資系コンサル、ベンチャー企業などで経験を積んできたが、顧客の顔が見えないサービスや効率化の先にどのような未来が待っているのか、という点に疑問を抱くようになり、ローカルで顔の見える関係性の中で、地域課題と向き合い「こういう場所が欲しい」といったニーズに実際に応えていくことに挑戦したいと考えるようになったことがきっかけ。

#### ■ 委員

特徴的なのが施設を出た後も拠点の支援までやられている点。卒所後の支援まで行っている理由は。

### ◇ 株式会社タウンキッチン

金銭的援助により市内に残ってもらうというやり方は、お金の切れ目が縁の切れ目になるので、それはポジティブではないだろうと思っている。我々は、BtoC、地域住民がエンドユーザーの場合は、近くで起業することで既存顧客がそのままついてくるため事業継続や成長につながるの、それが一番大事だと考えている。

また、人を単に施設に集めても地域全体の活性化には必ずしもならず、成長した事業者がその後どう地域に広がるかを重視している。

## ■ 委員

PlanT の立地は鉄道沿線とはまた違うが、あの場所ならではの強みや弱みについて、考えがあればお聞きしたい。

### ◇ 株式会社タウンキッチン

ショッピングセンターが近くにある点は強みと感じている。ただ、当社が運営する施設は必ずしも皆いい立地ではなく、中には駅から徒歩 17 分の住宅街に立地している施設もある。そういった場所でも十分運営できていることを考えると、PlanT の立地はそれらと比べて恵まれている。立地の良し悪しだけで判断するべきでなく、この場所にも十分なポテンシャルがあると考えている。

## ■ 委員

実績の中で関西にも施設があるが、多摩地域と関西に施設を置いている理由は。

### ◇ 株式会社タウンキッチン

展開する地域については積極的に決めているわけではない。関西の施設は、鉄道系企業が高架下の開発方法を全国で調査した結果、当社施設を参考にし、沿線にも同じような施設を作りたいとご相談、ご依頼があったため設置しているもの。

## ■ 委員

社名の由来は。

### ◇ 株式会社タウンキッチン

立ち上げ当初は飲食を中心とした施設だったため。

## ■ 委員

不動産紹介まで行うまちづくり的な強みを持っている。単なる事業者の育成だけでなく、事業が実際に地域に根付くことまでをミッションとしている。

不動産仲介ができることは商業振興の観点でも重要だが、地元にはすでに不動産業者が存在している。不動産協会の中に広いネットワークがあるのか、どの地域でも対応できる仕組みや独自のノウハウがあるのかについてお聞きしたい。

### ◇ 株式会社タウンキッチン

創業支援は手段であり、当社の最終的な目的は地域を豊かにすることにある。不動産取引については、2017 年ごろから宅建業法に基づき事業を開始しており、業界では物件情報がデータベース上に登録されて、資格を有する者であれば誰でも閲覧できるもの。既存不動産会社の存在は障壁にならない。貸主と借主のマッチング自体は難易度が高いものではなく、参入障壁も低い。

一方で、店舗仲介の場合は融資やインフラなど確認事項が多く、成約までに時間と手間がかかる上、手数料収入も少ないことから、一般的な不動産会社には断られるケースが多い。実際には、空き家の活用等の相談が寄せられることもあり、採算性は高くないが、まちづくりの観点からは避けて通れない事業と位置付け、取り組んでいる。

## ■ 委員

行政のまちづくり部門等と連携することはあるのか。

◇ **株式会社タウンキッチン**

通常の店舗物件の貸し手と借り手のマッチングについては、行政と関係なく対応している。一方、空き家の利活用など行政課題に関する領域では、東京都とも連携しながら取り組んでいる。

■ **委員**

商工会や商工会議所、日本政策金融公庫など、これらの機関との連携状況は。

◇ **株式会社タウンキッチン**

日本政策金融公庫や信用保証協会とは各種セミナーでの講義、審査など、密に連携しながら事業を進めている。

<株式会社タウンキッチン退室>

---

③ **プレゼンテーション及び質疑応答（B社）**

---

<B社入室>

◇ **B社**

提案内容についてプレゼンテーション、説明。

■ **委員**

市の予算を投入して施設を運営していく以上、PlanTで創業された方は以降も市内にいていただくのが一番と考えている。そのあたりの仕掛けは何か考えがあるか。

◇ **B社**

日野市の制度融資は他市に比べ優位性があると考えているため、スタートアップ企業に市内にとどまっただけよう案内をしていきたい。また、近隣に大学や大手企業が多くあるので、大学であれば共同研究、大手企業に対しては事業者と深く結びつけられるようにすることで市内に事業所を構え続けてもらえると考える。

■ **委員**

データセンターの立地によりPlanTの利用者数見込みが増えると計画書に記載があるが、ここについてご説明いただきたい。

◇ **B社**

イメージと違い、データセンターは人の行き来や人の流れを生むものと実感している。建設予定のあるデータセンターは相当な大手のCSP（クラウドサービスプロバイダ）が使うと考えており、うまくアピールできればそこから生まれるビジネスがあると考えている。

■ **委員**

基本計画書にデータセンター建設に伴い令和10年から利用者が増大すること、公の施設の効用と効

率の最大化を踏まえ「自動化システムの導入」をするとあるが、具体的にどのような自動化を想定しているのか。

◇ **B社**

監視カメラによるチェックシステムと利用統計に基づいた AI 管理。令和 10 年までに統計を取り、令和 10 年から運用することを考えている。ウェブ予約システムや支払いに電子決済を導入することで人員削減と大人数利用者への対応をしていきたい。

■ **委員**

令和 10 年に利用者が増大すると書かれているが、この想定通り増えていかないと事業計画書通りの業務遂行は難しいのではないかと考えている。

◇ **B社**

データセンター建設によって必然的に駅周辺人口が増えるため、PlanT へ引き込むことを見越している。例えば、福島県の白河はデータセンターによる人の行き来が生まれたことにより、ビジネスベースが生まれている。令和 8、9 年度は努力しなければならないと考えている。

■ **委員**

市に対して意見を言える実績を出すとしているが、現時点ではどのような意見を考えているのか。

◇ **B社**

時代の流れについていけるように、早い段階から意見を出していきたい。将来への変革の流れを作るために、意見を継続して出していきたい。

■ **委員**

利用者意見を集約、反映する考えは。

◇ **B社**

全てを受け入れるわけではないが、利用者意見を真摯に聞くことで今後の PlanT の運営に活かしていけるような意見、提案ができればと考えている。

■ **委員**

PlanT のある多摩平は、ショッピングモールや市立病院、住宅が隣接した場所。PR するにはどのようなアピールがいいと考えるか。

◇ **B社**

ここまでまちづくりが計画された場所はないと考えている。駅近くにショッピングモールがあり、ワーキングスペース、病院、小学校中学校がある。このあたりがアピールポイントになると思う。また、大学教授は集まりやすい場所と考えており、CSP の方たちも住みやすい場所。子育て世代とビジネスの両立の側面からも、PlanT、買い物施設、住居が非常にコンパクトにまとまっていると利用者からの声があると聞いている。

■ **委員**

自主事業収入は 200 万円、自主事業経費は 100 万円を予定しているが、一つ一つの事業に対して参加費を取っていくとなると、結構な単価になる規模感。これまでの実績や、収入を見込めるポイントはあるのか。

◇ B 社

コンテンツと講師の質に重点を置くことをポイントに考えている。経験面について、実績はある。

■ 委員

自主事業収益の繰入率等を記入する欄があるが、空欄だった。どのようなお考えか。

◇ B 社

自主事業収益の一部を指定管理経費に繰り入れる予定はない。

<B 社退室>

#### ④ プレゼンテーション及び質疑応答 (C 社)

---

<C 社入室>

◇ C 社

提案内容についてプレゼンテーション、説明。

■ 委員

指定管理のため、ソフト事業だけではなく施設・設備の管理業務が必要となる。日々の管理業務をどのような体制で行う予定か。

◇ C 社

これまでの自身の経験から設備の故障対応などのスキルは備わっている。また、設備機器の取り扱い業者との人脈があり、協力していただける体制がある。公金による運営という点で言えば、自治体経験社員がいるため、管理・対応ができると考えている。

■ 委員

移住支援に関して提案があったが、100 万円のサポート費の財源は。

◇ C 社

本業務による売上と、指定管理料と提案額の差額の活用を検討。

■ 委員

PlanT を中心として移住者を日野市に定住させる必要があると思う。すぐに元の場所に戻ってしまうのではなく 100 万円投資した結果が伴わなければならない。そのためには創業者はビジネスで継続的に収益を上げていく必要があるが、何か方策はあるか。

◇ C 社

サポートを受けるにあたり「何年間は日野市に居住すること」などを条件とした契約書を締結することで、市外流失を防ぐことができる。

#### ■ 委員

様々な事業を計画しているが、代表以外にどのような方が運営に携わるのか。

#### ◇ C社

都外在住の部下がこちらに来てサポートすることが決まっている。このほかに1名いるため、まずは3名で運営していく予定。

#### ■ 委員

子ども向けの興味深い提案が多くあったが、PlanTは創業者の支援のための施設となっている。子どもと親御さんがたくさん来た際の既存利用者との利用方法・利用空間のすみ分けなどお考えはあるか。

#### ◇ C社

保育の観点からただ預けたい、というのはお断りしようと考えている。PlanTを創業支援、人材育成の場として提供したいと考えているため、たとえ子どもであったとしても、使用の際には事前にやり取りを交わし認められれば使用を認める。このような方法を取りたい。

#### ■ 委員

地震などの災害が発生し帰宅難民が出てしまうことも考えられる。こういった際の施設の活用方法にお考えはあるか。

#### ◇ C社

施設は解放し、私自身もすぐに駆けつける。解放が長期にわたる際もPlanTに常駐可能。また、備蓄品についてはこれまでの経験で常備して置くべき物品などを熟知しているため対応ができる。

#### ■ 委員

管理基準書にて示している、イベント、セミナーなどの指定事業を指定回数以上行っていただく必要があることについて、ご理解いただいているということですか。

#### ◇ C社

もちろん理解している。

#### ■ 委員

指定事業を実施したうえで、ご提案のレンタルオフィスのような事業を実施することになるが、すでにPlanTを利用している利用者との整合についてお聞きしたい。現状の利用者に単純にプラスしてお考えなのか、それとも現状の利用者の利用を一部制限し、レンタルオフィスのような仕組みを入れようとしているのか。

#### ◇ C社

サービスを展開していく中で、サービスが変わることはあると考えている。現状の利用者に対してし

っかり説明したうえで、利用継続の有無をご判断いただく。現状のワークスペースなどの利用料金は格安で固定費をほぼ考えず事業展開ができるため勉強にならない。利用料金が上がることなどあるかもしれないが、利用者に対して丁寧に説明し、残っていただける方にサービスを展開していきたい。

■ 委員

運営体制について、日野市内のお知り合いの方は運営に含まれるか。

◇ C社

たくさん含まれている。

■ 委員

選定された場合の話はついていると理解していいか。

◇ C社

そのとおり。

■ 委員

チャレンジショップの区画が2つあるが、何か有効活用方法を考えているか。

◇ C社

土日祝日は子ども向けのITスクールや職場体験施設等を作ろうかと考えている。一般の利用者とはすみ分けを考えている。

■ 委員

チャレンジショップの趣旨と違うように感じるが、本来の趣旨の利用ニーズがあった場合はどうするのか。

◇ C社

ニーズがあれば解放したい。市が求め期待している創業の方向性と合致しているのか、疑問に感じている。

<C社退室>

---

⑤ プレゼンテーション及び質疑応答 (D社)

<D社入室>

◇ D社

提案内容についてプレゼンテーション、説明。

■ 委員

いくつか運営拠点がある中で、都外の施設が一番成功しているとのこと。ロケーション的には都内の

方が一般的には良いと思うが、成功している秘訣はあるのか。

◇ D社

当初は起業一本で進めてきたがそれだけでは起業家の発掘が進まなかったため、コワーキング利用など裾野を広げた。結果、駅直結施設のためサラリーマンの利用が多かった。

そういった点を踏まえ、起業家向けプログラムだけではなく、他の層を取り込むことで施設の賑わいを作ることができている。起業家支援と合わせてコワーキング利用を運用している点が成功の秘訣と考えている。

■ 委員

提案講師による起業家向けプログラムは当該施設のみで実施しているのか。PlanT で実施してもらえるのか。

◇ D社

現在当該プログラムを組んでいるのは当該施設のみ。もちろん PlanT でも実施可能。

■ 委員

起業塾はどのように運営しているのか。また、提案講師についてご紹介、ご説明をお願いしたい。

◇ D社

提案講師は当社運営に携わっている。AI 活用を得意としており、短期間でビジネスを軌道に乗せることが得意。このほか、診断士としてある程度かたちになった後のビジネスの売上支援などのサポートをする講師、全体を俯瞰しながらサポートする講師がおり、役割分担を図っている。

■ 委員

自主事業のまちづくりカンファレンスについて、まちづくりはかなり広いテーマだがテーマを絞る予定は。

◇ D社

まちづくりのみでは漠然としすぎているので、テーマは絞って実施したい。事例として、直近ではサッカーチームをお招きし、その際は「スポーツでのまちづくり」をテーマとして取り扱った。

■ 委員

地域の活性化だけではなく、ビジネスにつなげる狙いがあるのか。

◇ D社

マッチングによりビジネスを始めるなど、カンファレンス参加者同士の交流を促していきたい。

■ 委員

コミュニティマネージャーについて、運営している施設ではどのような人が担っているのか、また PlanT にはどのような人が配置されるのか。

◇ D社

最近多いのは、フリーランスとして働きながらコミュニティマネージャーを務めてくれるケース。い

ろいろな知見を持っているため、ご利用者へのアドバイスができる点が良いところ。インキュベーションマネージャーほどではないが、自分でビジネスをしているからこそ話ができる。

店舗によっては大学生がいたり幅広い人が関わっている。日野市の場合、多摩地域愛の強い方が多い印象があるため、地域を好きでいてくれる方に参加してもらえるようにしていきたい。

#### ■ 委員

他で運営されている施設と比べて、PlanT や多摩平にはどのような違いを感じているか。

#### ◇ D社

立地が非常に良いと感じている。私自身も訪れたことがあるが、施設上にはマンションがあり、サラリーマン世代の方々が利用しているのだろうと思う。また違いとしてはチャレンジショップがある点。挑戦しやすい環境づくりがすでに整っている。創業の観点から見ると、場所が揃っていてアクセスも良く循環しやすい。起業家にとって良い環境だと感じている。

#### ■ 委員

自主事業について、参加者は有料での参加となるのか。

#### ◇ D社

内容によるが、WEB セミナー及び講師による起業家向けプログラムは無料。交流会で飲食の提供がある場合は有料だが、それ以外は基本的に無料と考えている。

#### ■ 委員

無料分の自主事業は指定管理料で運営すると理解していいか。

#### ◇ D社

そのとおり。創業者にとってはすごくいいものとなると考えている。

#### ■ 委員

指定管理者による公の施設ということで、設備の破損などがあった場合の対応などの経験は。

#### ◇ D社

もちろん対応している。テナントに入っている施設の場合はオーナーに依頼することはあるが、基本的、日常的な対応は自ら行っている。

#### ■ 委員

収支計画書の提案書総括表について、事前資料では現状の利用料金収入はおおよそ 800 万程度となっていたはずだが、提案金額はその半分程度。この差はどのような考え方によるものなのか、なぜ半分程度の見込みになっているのか。

#### ◇ D社

代表に確認し回答したい。

※後日、認識誤りだったとの回答あり

#### ■ 委員

人件費について、令和 8 年度と比べ令和 12 年度には縮減する計画になっている。一般的に同じ体制を維持するなら人件費は上昇していく傾向にあると思うが、何か特別な理由や背景があって、このような見込みになっているのか。どういう理由でこのような数字になっているのか知りたい。

◇ D 社

代表に確認し回答したい。

※後日、「受託直後はトレーニングを兼ねて人員を厚く配置し、徐々に配置人数を減少させていく計画」との回答あり

■ 委員

自主事業について、赤字での収支になっている。これは赤字を前提に進めるという理解でよいか。この場合、市からは指定管理料しか支払わないのでその赤字部分は会社で負担する、という理解でよいか。

◇ D 社

そのとおり。

■ 委員

提案事業内にアントレプレナーシップゼミの記載があるが、最近は大学でもアントレプレナーシップ教育が広がっている。これまでの経験の中で起業や創業の分野において大学との連携実績があるのか、実際に取り組んできたことがあるのか知りたい。

◇ D 社

大学との連携実績はある。あるイベントでは周辺大学の学生と連携した学生と起業家向けプログラムを組み合わせた取り組みもあり、起業家向けプログラムに関するプロモーションを大学生が企画・実施する事例もある。

■ 委員

提案講師以外にも講師がいる認識でいいか。

◇ D 社

もちろん。他施設では別の講師がメイン講師をやっている。また、当社がリーダーとなり、ウェブセミナー見放題のオンラインスクールを提供している。ここまで作り込んでいるところはないと評価を受けている。日野市の創業者に価値を与えることができると考えている。

■ 委員

他施設の開館時間は。

◇ D 社

ほとんどの施設が、9時から18時の時間を有人対応とし、22時まで会員のみ入場可としている。このほか、すべて有人対応としている施設もあり、その施設では平日9時から21時半まで営業している。

<D 社退室>

## ⑥ プレゼンテーション及び質疑応答（E 社）

---

<E 社入室>

### ◇ E 社

提案内容についてプレゼンテーション、説明。

### ■ 委員

これまで運営されてきて、大手企業さんと個人の企業との関係、例えばビジネスマッチングのような取組実績はあるか。

### ◇ E 社

大手企業の場合、窓口になるのが総務や CSR 部門の方が多く、正直なところマッチングは難しいと感じている。だからこそ、地方企業の誘致を進め、そういったところから関係構築していったほうが良いと考えている。ただしそのアプローチはかなり骨が折れる。イオンモールなどは BtoC の個人を相手にした商売を展開しているので、比較的アプローチしやすい印象。

### ■ 委員

2 区画あるチャレンジショップについて、うまく活用できているといえるか。

### ◇ E 社

人通りが非常に多い場所なので、ショップとしてどうかという課題はあるかもしれない。あくまでも今後ショップを展開したい人の経営チャレンジの場と考えている。月 1 回面談を行いながら、利用者がステップアップできる場、チャレンジの場の提供と位置付けている。

### ■ 委員

お話をいただいたような状況で、PlanT の創業支援という目的に照らして、チャレンジショップはあった方がいいコンテンツだと思うか。

### ◇ E 社

必要だと考えている。他市のチャレンジショップは短期間が多いが、日野市では 2 年間取り組める。季節を一通り経験した上でもう一度挑戦できる環境のため、トライアンドエラーが利用者の成長につながっている。ヒアリングやコンサルの頻度を増やし状況を確認するようになったことで、チャレンジショップの質も向上した。これからはさらに良くなっていくと思う。

### ■ 委員

利便性向上に関する提案のデジタル利用証とオンライン予約、キャッシュレス決済について、導入コストをどの程度を想定しているか。

### ◇ E 社

デジタル利用者証とオンライン予約システムをあわせて約月 1 万円程度、キャッシュレスの場合は

手数料分を想定。

#### ■ 委員

ビジネスプランコンテストについて、他と比べて地域団体など地域性を重視した審査委員になっているとのことだが、参加者の反応は聞いているか。

#### ◇ E社

日野市のビジネスプランコンテストは、全国大会の予選にもなっている。40～50代の経営者の審査委員からは好評。参加者からは「事業がスケールするか」という投資的な視点ではなく、経営者の視点で実現性を判断してもらえる点が評価されている。当社としてもそういったビジネスプランコンテストを目指してきた。

#### ■ 委員

行政の立場としては、創業者の数を増やしていきたい一方、公共施設のためより多くの人に活用してほしい。特にイベントスペースやプロジェクトルームなどは活用しきれておらず、もったいないと思っている。創業者の増加と公共施設としての有効活用を両立させるにはどうしたらいいのか、その考えを聞きたい。

#### ◇ E社

創業者を増やすという点では、相談に来たはいいがプランの作成まで辿り着かず諦める人が一定数いるのが現状。創業スクールによる支援やハンズオン支援が必要と感じている。市内中小企業の社員が子会社として起業するような文化も根付かせたいと考えている。

有効活用については、以前は教室利用も盛んだったがコロナ以降は利用者が減少し、稼働率も下がっている。もう一度こうした層にアプローチする必要がある。加えて、公民館などで教室をやっている人もいるため、積極的な働きかけ・営業をしていきたい。

#### ■ 委員

「多摩・島しょ地域における中小企業支援ファンド」について、どのように関わっていくのか。

#### ◇ E社

スタートアップなど面白そうな新規事業者の紹介や、既存事業者による新規事業提案、事業承継による新しい事業への資金投入など。そういった情報を得るために、アドバイザーボードへの参加も個人的に打診されていて、事業プラン作成の段階からアドバイザーとして深く関わることになると考えている。

<E社退室>

### ⑦ プレゼンテーション及び質疑応答 (F社)

---

<F社入室>

#### ◇ F社

提案内容についてプレゼンテーション、説明。

■ 委員

市内企業との連携について複数の企業名が挙がっていたが、現状でそうした大企業との間で連携はできているのか。

◇ F社

大企業との連携について、以前は連携があったが現時点では減少しつつある。

■ 委員

市としても、企業と連携したイベントなどは実施している。今後はこうしたイベントを単発で終わらせることなく、継続的な連携や新たな事業の創出につなげていきたいと考えている。

◇ F社

利用者の中には大企業の従業員や大学院生など、幅広い方がいる。また、大学のインターンシップ生も受け入れている。

■ 委員

近隣市でも事業展開しているが、行政と連携しているのか。

◇ F社

行政ではなく、地域団体と連携している。

■ 委員

いくつか施設運営しているが、単にテナントとして入居するのではなく、施設管理から受託している施設はあるのか。

◇ F社

現時点で実績はないが、都外の施設で施設管理の受託から始める事業が進行している。

■ 委員

提案にあったアンケート結果について、対象人数とどういった属性の方々を対象に実施したのか教えてほしい。

◇ F社

アンケート対象は自社施設の会員で、対象者数は三桁を超えている。回答・返信があった人数は二桁人数。

■ 委員

「コンビニ」というような表現を使い、肩肘張らずに事業を展開していく姿勢は素晴らしいと感じる。

◇ F社

保育施設を隣接させているため、スタッフのほとんどは保育士などの資格を持っている。時給が高く、預かる子どもより保育士の数が増える場合もあって負担としては大きい。PlanT の近隣には素晴らしい保育施設もあるので、そこの連携をしていきたい。拠点から PlanT までアクセスがいいので、地の利を活かしていきたい。

#### ■ 委員

受付スタッフが重要になってくるが、どのような方を常駐させているか、させる予定か。

#### ◇ F社

スタッフの約半数は施設利用者となっている。こちらから依頼しているわけではなく、雇用した従業員を配置しづらい時間帯に、創業間もなく仕事が少ない方々が、自発的なご厚意で手伝ってくださっている。

現拠点施設のインキュベーションマネージャーは中心的な存在で、企画運営に携わっている。PlanT 運営にもコーディネーターとして入っていただく予定。

拠点施設は「つながり」をコンセプトとしており、静かに仕事をしたい方向けではないと考えている。PlanT も産業連携センターという位置づけのため「つながり」に重点を置きたい。

#### ■ 委員

どのような運営体制を予定しているか。

#### ◇ F社

要員配置計画書にある通り、2名のインキュベーションマネージャーとその他コーディネーターを中心とした体制を考えている。

#### ■ 委員

市内には多くの創業者や事業者がいるが、非常勤のコーディネーターに、地域の人を起用する可能性や考えはあるか。

#### ◇ F社

もちろん可能性はある。手伝いいただけるのであれば、お願いしていきたい。

#### ■ 委員

提案にもあるが、周辺にある大学や団体、金融機関との連携も積極的に図ってほしいという思いがある。

提案書に就業規則が全部添付されていたが、従業員の働きがい重視し、就業規則をきちんと守る会社だと受け取っていいか。

#### ◇ F社

施設運営にはマーケティングとマネジメントの両面が存在し、マーケティングでは各種セミナーや交流イベントなどのプロモーション、マネジメントは実際に施設を運営するところ。今回の仕様書にもそうした施設運営に関する内容が記載されているが、中にはこれまで十分に実施できていなかった点も含まれていたため、改めてドキュメンテーションし、運用の仕組みを整備していきたい。就業

規則はその前提となる重要な部分と認識している。

■ 委員

PlanT の大きなミッションは、個人事業として創業者を育成すること。しかし、副業的な働き方も今後必要とされると考えている。在宅就業しながら会社の仕事も続け、自分でも個人事業を始める、そういった人材を育てていくことも PlanT の新たなミッションになり得る。

◇ F社

経済産業省のような分野ではなく、厚生労働省の「働き方」の視点。実際にこうした施設の中でも、当社施設だけが国、都道府県、市町村のそれぞれ異なる行政機関から認定を受けている。その点が大きな強みとなっている。

■ 委員

ハローワークや財団等との連携は。

◇ F社

セミナー開催等の連携実績はあるが、全ての団体とあるわけではない。

<F社退室>

(5) 主管課質疑応答

■ 委員

特になし

<施設所管課退室>

(6) 委員意見交換

■ 委員

特になし

(7) 採点

■ 委員長

採点、提出いただき次第終了。

(閉会)